

ニューウェルブランズ・ジャパン合同会社

〒108-0023 東京都港区芝浦4-9-25 芝浦スクエアビル

ベビー用品 お客様サポートセンター TEL 0120-415-814
携帯電話からご利用の場合(通話料お客様負担) TEL 0570-004-155
受付時間: AM10:00~PM5:00(土、日、祝日、弊社所定休日を除く)

〈お願い〉

〈重要〉ご使用前にお客様情報を登録してください。

弊社では、万一お買い上げいただいた製品に問題があることが判明してリコールを実施する場合に、直接その内容をお知らせするために、お客様登録システムを導入しております。
安心してチャイルドシートをご使用いただくために、お買い上げ日より一カ月以内に必ず登録をお願い致します。

弊社ホームページ <https://www.aprica.jp/>



- ・本書に使用しているイラストは、操作方法や仕組みなどを分かりやすくするため、実物とは多少異なる場合があります。
- ・本書の内容について、誤りや記載もれなどお気づきの点がありましたら、弊社お客様サポートセンターまでご連絡ください。
- ・製品の品質向上のため、予告なしに一部仕様変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

チャイルド&ジュニアシート

formfit

フォームフィット

Aprica

取扱説明書／保証書

体重**9kgから36kgまで**のお子さま用です。

ISOFIXバーとトップテザーアンカーを装備した車に使用できます。

但し、ISOFIXバーとトップテザーアンカーを装備した全ての車に取り付けられるものではありません。

取り付ける前に必ず車種適合表をご確認ください。

このたびは、アップリカ製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用前に、取扱説明書(本書)をよくお読みのうえ正しくお使いください。
また、お読みになった後は、**本書を取扱説明書収納ポケットに常備し、大切に保管してください。**

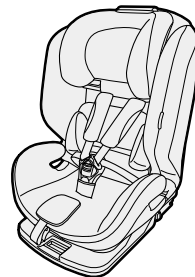
本書に記載されている以外の方法で使用しないでください。

製品の機能が充分発揮されないだけでなく危険です。

本書のイラストは説明の便宜上、一部仕様が異なる場合があります。

UN ECE-R44／04適合

汎用型ISOFIXグループⅠ、準汎用型グループⅡ、Ⅲ 9kgから36kgまで



ご使用前に〈P2〉

取り付ける前に〈P22〉

車への取り付け〈P25〉

グループⅠ〈P39〉

(体重9kgから18kgまで)

グループⅡ〈P44〉

(体重15kgから25kgまで)

グループⅢ〈P49〉

(体重22kgから36kgまで)

お手入れ〈P52〉

その他〈P56〉

もくじ

ご使用前に

チャイルドシートについて	2
保護者の方へのアドバイス	2
本書の表示について	2
取り付ける手順	3
各部のなまえ	5
お子さまの条件	9
座席の条件	11
座席の条件	13
シートベルトの条件(シートベルト使用)	15
ご使用上の注意	17
日常の点検	21

取り付ける前に

リクライニングのしかた	22
パッドの使いかた	23

車への取り付け

取り付け準備	25
取り付けかた	27
取り付け後の確認	33
車からの取り外しかた	34
ヘッドサポートの高さ調節	37
肩ハーネス位置の目安	38

グループⅠ

お子さまの乗せかた	39
使用時の確認	42
お子さまの降ろしかた	43

グループⅡ

肩ハーネス・バックルの収納	44
お子さまの乗せかた	46
使用時の確認	48

グループⅢ

お子さまの乗せかた	49
使用時の確認	51

お手入れ・その他

シートカバーの取り外しかた	52
シートカバーの取り付けかた	54
お手入れ／保管／廃棄のしかた	55
困ったときには	56
保証について	58
アフターサービスについての連絡先	59
MEMO	60
保証書	62

ご使用前に

チャイルドシートについて




- ・チャイルドシートは自動車の座席に固定して使用し、自動車事故などの際に、お子さまの傷害を軽減しますが必ずしも事故からお子さまを無傷で守るものではありません。
 - ・日本国内及び、UN ECE規則を批准している国での使用は可能です。保証については日本国内においてのみ有効です。
 - ・本書に説明されている方法以外で使用しないでください。衝突などの際に十分な性能を発揮することが出来ないおそれがあります。
- 〈中古品のご使用について〉**
- ・前の使用者の使用履歴が分からない場合やパッドなどの部品が紛失している場合及び、使用状態が不明な製品をご使用になることはできません。特に事故歴の不明な場合はご使用になれません。
 - ・クラック(ひび割れ)や大きなキズ、留め金部の緩みなどがある場合は、ご使用になれません。事故などにより強い衝撃が加わった可能性があります。

保護者の方へのアドバイス

- ・お子さまをはじめて車に乗せる時から、チャイルドシートの使用を習慣にしてください。
- ・長距離を走る場合は、1時間程度を目安に休憩をとり、お子さまをシートから降ろしてあげてください。
- ・授乳後30分位は吐き戻ししやすいのでご注意ください。

本書の表示について

- ・「危険」、「警告」、「注意」の表示は、これらの注意事項が守られなかった場合に予想される、危害・損害の切迫度の大きさにより区分したものです。大変重要な内容ですので、必ずお守りください。

表 示	表 示 の 内 容
 危 険	誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定されます。
 警 告	誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定されます。
 注 意	誤った取り扱いをすると、使用者が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定されます。



製品の取扱いにおける禁止行為です。



製品の取り扱いで知っておくと便利な内容です。

取り付ける手順

必ずお読みください。

ご使用前に

P2～P10

車の座席、
シートベルトを確認

P11～P16

ご使用上の注意

P17～P20

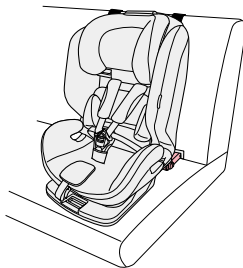
取り付ける前に

P22～P24

ISOFIXによる取り付け

P25～P36

- ・ 取り付けかた (ISOFIX使用)
- ・ 取り付け後の確認 (ISOFIX使用)
- ・ 車からの取り外しかた (ISOFIX使用)



日常の点検

P21

チャイルドシートモードとして
お使いの場合

P39～P43

- ・ お子さまの乗せかた
- ・ 使用時の確認
- ・ お子さまの降ろしかた



〈グループⅠ〉
(体重9kgから18kgまで)

ジュニアシートモードとして
お使いの場合

P44～P51

- ・ 肩ハーネス・バックルの収納
- ・ お子さまの乗せかた
- ・ 使用時の確認
- ・ お子さまの降ろしかた



〈グループⅡ〉
(体重15kgから25kgまで)



〈グループⅢ〉
(体重22kgから36kgまで)

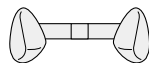
各部のなまえ

梱包内容

・ご使用前に、各部品がそろっていることをご確認ください。

〈パッド〉(P23～P24参照)

・箱から取り出した状態では、本体にセットされています。



サイドサポートクッション
(使いかたはP24参照)



肩パッドカバー
(使いかたはP24参照)

〈付属品〉



ガイドキャップ(2個)
(使いかたはP27参照)



フィットスペーサー
(使いかたはP30参照)



取扱説明書
(本書)

〈重要〉ご使用前に、お客様情報登録のお願い

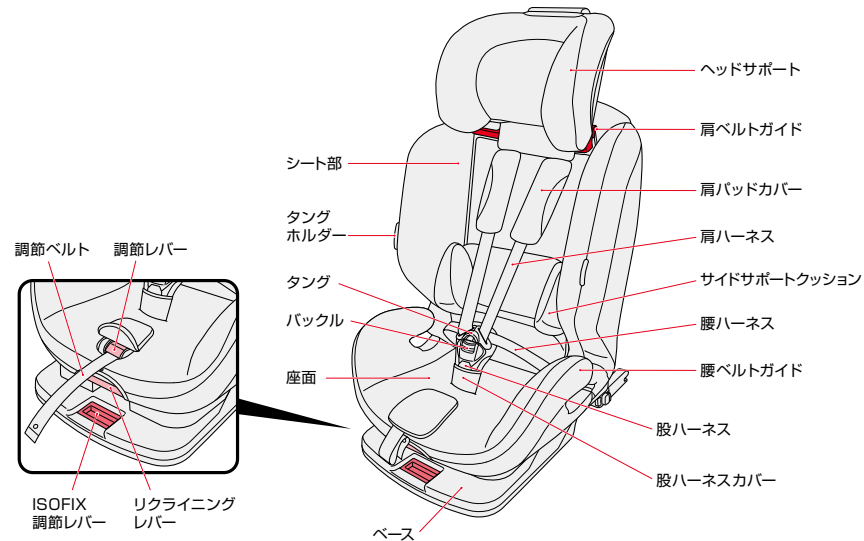
弊社では、万一お買い上げいただいた製品に問題があることが判明してリコールを実施する場合には、直接その内容をお知らせするために、お客様登録システムを導入しております。安心してチャイルドシートをご使用いただくために、お買い上げ日より一カ月以内に必ず登録をお願い致します。

弊社ホームページ <https://www.aprica.jp/>

お客様情報登録



QRコード



各部のなまえ

タングホルダー

・本製品を持ち上げるために
使用しないでください。

トップテザー
保護パッド

〈箱から取り出した状態〉

ISOFIX
調節レバー

アンカーラッチ

コネクター アンカーラッチ
解除ボタン ISOFIX
インジケーター

ヘッドサポート調節レバー

テザーベルト

インジケーター

テンショナー

解除ボタン

フック

テザーベルト
収納ポシェット

取扱説明書収納ポケット

・本書(取扱説明書)は収納ポケットに常備してください。

お子さまの条件

- ・下記の条件を満たさないお子さまには**絶対使用しないでください**。
条件を満たさないお子さまに使用した場合、**衝突などの際に充分性能を発揮できません**。

お子さまの体重に合わせて、2通りの使いかたがあります。

チャイルドシートモード

〈グループⅠ〉

体重9kgから18kgまで

参考年齢：12カ月頃から4歳頃
参考身長：70～100cm

- ・ ISOFIXで取り付け。
- ・ トップテザーの使用。
- ・ **肩ハーネス、腰ハーネスで拘束。**



ジュニアシートモード

〈グループⅡ〉

体重15kgから25kgまで

参考年齢：3歳頃から7歳頃
参考身長：95～120cm

- ・ ISOFIXで取り付け。
- ・ トップテザーの使用。
- ・ 肩ハーネス、バックルを収納。
- ・ **シートベルトで拘束。**



〈グループⅢ〉

体重22kgから36kgまで

参考年齢：7歳頃から11歳頃
参考身長：120～145cm

- ・ ISOFIXで取り付け。
- ・ トップテザーの使用。
- ・ 肩ハーネス、バックルを収納。
- ・ **シートベルトで拘束。**



・ 参考年齢と参考身長は目安です。お子さまの体重に合わせてご使用ください。



危険

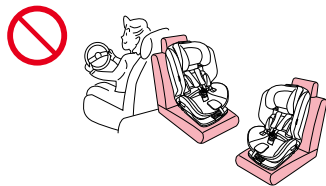
・ 体重の条件を満たしていないお子さまには使用しない。

座席の条件

〈お奨めする取り付け座席の位置〉

- ・お子さまの安全性を高めるために、運転席より後ろの列の座席に取り付けることをお奨めいたします。

・進行方向に対して横向き及び後ろ向きの座席。



〈サイドエアバッグが装備された座席に取り付ける場合の注意〉

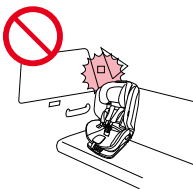
- ・サイドエアバッグやカーテンエアバッグのみの座席には使用できません。
- ・車の取扱説明書にチャイルドシートの使用に関する記載がある場合は指示に従ってください。

〈取り付けできない座席〉・座席の位置及び装備

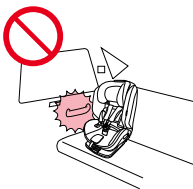
- ・車のヘッドレストが外せず、ヘッドレストがチャイルドシートの背もたれに干渉する座席。



- ・ピラーなどに接触して、正しく取り付けできない座席。



- ・本製品が車のドアトリムなどに干渉し、ドアを閉めることができない座席。



〈取り付けできない座席〉・座席の形状

- ・極端に奥行きが短い座席。(補助席や幼児専用座席)



- ・座面のフラット面が極端に狭く正しく取り付けができない座席。
(極端なバケットシート、スポーツ車、レース車、補助座席、幼児専用座席、市販座席に取り替えられた車両など)



座席の条件

〈ISOFIXを使用時の注意点〉

適用範囲 体重グループと取り付けの規定

使用モード	グループ	体 重	参考身長
チャイルドシートモード	1	9～18kg	70～100cm
ジュニアシートモード	2	15～25kg	95～120cm
	3	22～36kg	120～145cm

チャイルドシートは、体重9～18kg まで、またUN ECE-R44/04 基準により認定されたグループ I に適しています。

- 取り付けの場合**
1. チャイルドシートと取り付け具のカテゴリーに応じて認可されたISOFIX 位置 (詳しくは車の取扱説明書を参照) を有する車両に適合します。
 2. 本製品は体重グループ I、ISOFIX サイズ等級の「B1」となります。

車への取り付け時の注意

車のシートにISOFIXバーが付いていることをご確認ください。なお車の取扱説明書で本製品が取り付け可能なサイズ等級に当たるかを確認し、ご使用ください。また本製品は「汎用」カテゴリーに分類されています。お車が取付け可能かどうかを取り付け一覧表などでご確認ください。



B1 前向きに取り付け時、この装置が該当するISOFIXサイズ等級は「B1」です。

本製品はISOFIX幼児拘束装置です。ISOFIXバーを装備した車両で一般的に使用するものとして、UN ECE-R44/04に基づいて許可を受けています。

ISOFIX型チャイルドシートの取り付けを認可された座席のある自動車に取り付けることができます。ただし、ISOFIXチャイルドシートは、ISOFIXバーを装備した全ての車両に取り付けられるものではありません。ご使用の際には、必ず車種適合および車両の取扱説明書で下記のISOFIXチャイルドシートに対応しているか確認してください。

車両適合につきましては、アプリカホームページ「<https://www.aprica.jp/>」で最新版がご覧になれます。

取付車種一覧表



QRコード

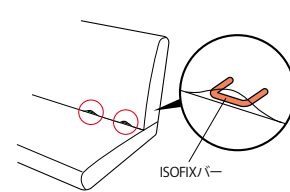
お子さまの体重	使用モード	質量グループ	カテゴリー	取り付け可能なサイズ等級	固定具
9kg以上から18kgまで	チャイルドシートモード	1	汎用型 (ユニバーサル)	B1	ISO/F2X
15kg以上から25kgまで	ジュニアシートモード	2	準汎用型 (セミユニバーサル)	—	—
22kg以上から36kgまで		3		—	—

1. チャイルドシートを取り付ける座席にISOFIXバーが装備されているかご確認ください。(図1)
2. チャイルドシートを取り付ける座席にトップテザーアンカーが装備されているかご確認ください。(図2)
3. チャイルドシートモード(体重9kgから18kgまで)で使用する時は、お車の取扱説明書で以下をご確認ください。
 - ・サイズ等級「B1」が使用不可でないこと。
4. ジュニアシートモード(体重15kgから36kgまで)で使用する時は、お車への取り付けが可能かを「取り付け車種一覧表」(P13 参照)でご確認ください。

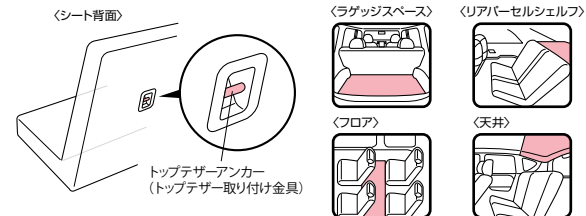
ISOFIXバー／トップテザーアンカーについて

- ・ISOFIXバーとは、ISOFIXチャイルドシートを取り付けるために、車両背もたれと車両座席の間に装備された金具(バー)です。
- ・トップテザーアンカーとは、テザーベルトフックを固定するために、車両背もたれに装備された金具(バー)です。
- ・車両により、名称や位置が異なる場合がありますので、必ず車両の取扱説明書で確認してください。

(図1) ISOFIXバー



(図2) トップテザーアンカー(トップテザー取り付け金具)位置(例)



シートベルトの条件(シートベルト使用)

〈シートベルトの条件〉

・本製品は、UN ECE-R16または他の同等の基準に基づいて認可された自動車3点式/リトラクター付きシートベルトを装備した車に限り使用できます。

シートベルトの種類		特 徴	取り付け上の注意点
3点式シートベルト	ELR付シートベルト (緊急ロック式巻取装置付)	通常はシートベルトが肩側の取り付け部から自由に出し入れでき、急ブレーキや衝突などの時だけロックされる。	シートベルトをゆるやかに引き出し使用すること。
	ALR/ELR付シートベルト (チャイルドロック機構付)	シートベルトを全て引き出すと、入る方向にしか動かない機構付です。全て巻き取るとロックが解除されます。	ご使用時にシートベルトのALR機能を作動させない。ベルトがゆるめられなくなり、窒息や重大な障害を受けるおそれがあります。
	その他	上記に当てはまらないシートベルト。	本製品は、ご使用できません。

・シートベルトの条件についてご不明の場合は、弊社お客様サポートセンターにお問い合わせください。

ニューウェルブランズ・ジャパン合同会社

〈電話連絡先〉

ベビー用品 お客様サポートセンター TEL 0120-415-814

携帯電話からご利用の場合（通話料お客様負担）TEL 0570-004-155

受付時間：AM10：00～PM5：00（土、日、祝日、弊社所定休日を除く）

・2点式シートベルトの座席。



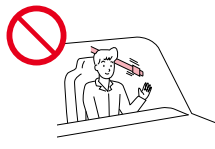
・シートベルトの取り付け部が上下共巻き取り式の座席。



・ISOFIX使用時にシートベルトのバックルが使用できない位置の座席。



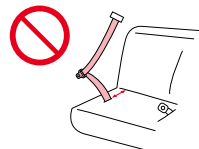
・パッシブシートベルトの座席。
(座席に座ってドアを閉めると自動的にシートベルトが装着される座席)



・市販のスポーツタイプのシートベルトが装備されている座席。



・バックル及び腰シートベルトが極端に前方から出て、リクライニング機構もなく、しっかり取り付けできない座席。



ご使用上の注意

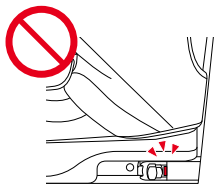


危険

誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。

・体重9kg未満及び36kgを超えるお子さまには使用しない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。

・ISOFIXインジケーターが赤色の状態で使用しない。(ISOFIX使用の場合)
衝突の際に充分性能が発揮できません。



・シートベルトに損傷があるときはジュニアシートモードで使用しない。
衝突の際に充分性能が発揮できません。



・補助座席、幼児専用座席には使用しない。
衝突の際に充分性能が発揮できません。



危険

誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。

・お子さまが立ったり、中腰、正座をした状態では使用しない。
衝突の際に充分性能が発揮できません。



・チャイルドシートのバックルを解除した状態では使用しない。
衝突の際に充分性能が発揮できません。



・チャイルドシートを本書及び、本
体表示ラベルの説明以外の方法
で取り付けない。
製品の機能が充分発揮されない
だけでなく危険です。



ご使用上の注意



警告

誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

- ・お子さまを一人で車内に残さない。
- ・肩ハーネス、腰ハーネスは、ねじれたり、緩んだ状態で使用しない。
- ・腰ハーネスは骨盤上以外で着用しない。
- ・同時に二人以上で使用しない。
- ・緊急時の脱出の妨げになる座席にはチャイルドシートを取り付けない。(例:片側スライドドアのドア側座席など)
- ・チャイルドシートの底面の一部分にクッション、座布団などを敷かない。
- ・肩ハーネス、腰ハーネスや股ハーネスに損傷、亀裂、焦げなどがある場合は使用しない。
- ・肩ハーネスは、お子さまの肩以外の位置で使用しない。
- ・車の走行中にベルト調節、リクライニングなどの操作を行わない。
- ・チャイルドシート使用中、お子さまにバックルの解除ボタンを触らせない。
- ・お子さまの耳の上端部が本体の上端部より上に出る場合は使用しない。
- ・シートベルト使用时、極端な厚着や、防寒具の上からシートベルトを装着した場合、シートベルトのゆるみの原因となることがあります。寒さ対策はシートベルトを装着した上から行ってください。
- ・トップテザーが外された状態で使用しない。
- ・バックルに水やジュース、泥水、ゴミなどが入った場合は使用しない。**衝突などの際に充分性能を発揮できません。**
- ・事故や落下などによる強い衝撃が加わった後は使用しない。
- ・本製品を分解、改造、及び指定部品以外の交換はしない。
- ・シートカバーやクッション材を外した状態や、他のものと交換したり、破れた状態で使用しない。
- ・本製品のいかなる部品もお子さまの遊び道具として使用させない。
- ・保護者、介添者などが椅子など腰掛けとして使用しない。
- ・パッド類を含む本製品の部品が破損した状態で使用しない。
- ・ISOFIXで固定していないチャイルドシートを車内に置かない。また、衝突の際に傷害の原因になるおそれのある荷物などは車内に置かない。
- ・取り外したパッド類はトランクルームやカーゴルームに保管し、車内に保管しない。
- ・梱包袋はお子さまがかぶらないよう放置しない。
- ・極端な厚着や防寒具の上から肩ハーネス、腰ハーネス、股ハーネスを装着しない。**ハーネスのゆるみの原因となるおそれがあります。**寒さ対策はハーネスを装着した上から行ってください。



注意

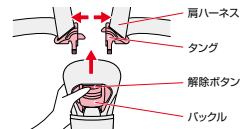
誤った取り扱いをすると、使用者が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。

- ・チャイルドシートを直射日光にさらさない。
本体や金属部分などが熱くなり、やけどのおそれがあります。
- ・可動式シートまたは、車のドアにチャイルドシートの剛性部分やプラスチック部分を挟まない。
- ・チャイルドシートがシフトレバーやパーキングブレーキなどの操作に支障をきたす座席には取り付けない。
- ・車の座席が革仕様の場合には、直接取り付けない。(別売の保護マットを使用する。)
- ・火などの近くに放置したり、長時間屋外に放置しない。
- ・ISOFIXで固定せずに、通常の椅子として使用しない。
- ・お子さまが乗っていない場合でも、チャイルドシートのタングはバックルから外しておかない。
- ・お子さまにチャイルドシートの取り付けや、操作をさせない。
- ・チャイルドシートに重量物を載せない。
- ・砂やほこりの多い場所で使用するとベースなど可動部分に詰まり故障の原因になります。
- ・本体やパッド類、付属部品の洗浄にはシンナーなどの溶剤を使用しない。
- ・本体に貼り付けられたシールは、はがさない。
- ・屋外に放置し、雨などにさらさない。

緊急時のお子さまの降ろしかた

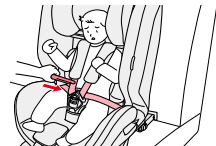
緊急の時はあわてずに…

- ①バックルの解除ボタンを押し、タングを外す。
- ②肩ハーネスをお子さまから外す。
- ③お子さまをチャイルドシートから降ろす。
- ④安全な場所へ避難する。



バックルからタングが抜けない時は…

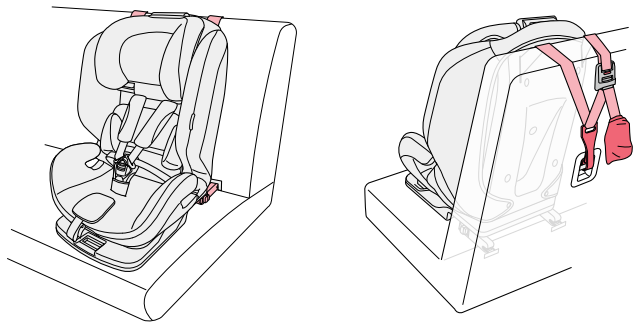
●チャイルドシートの肩ハーネスをシートベルトカッター(市販品)などで切り、お子さまを降ろす。



日常の点検

・お子さまを乗せる前にチャイルドシートが確実に取り付けられているか確認してください。

確実に固定されていないと、急ブレーキや衝突時などに、チャイルドシートが正しく機能せず、大変危険です。最悪の場合、死亡につながるおそれがあります。



《取り付け後の確認》(P33参照)

- ・テザーベルトのフックが確実に固定され、テンショナーのインジケーターが「緑色」になっている。
- ・バックルに水やジュース、泥水、ごみが入っていないことを確認する。
- ・ISOFIXインジケーターが「緑色」になっている。(左右)
- ・座席の背もたれにベースが接している。
- ・左右のコネクターが同じ長さになっている。

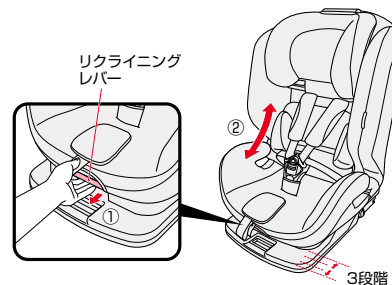
リクライニングのしかた

・お子さまの体重にかかわらず、3段階に角度を調節することができます。

製品を箱から取り出した際には、1段目にセットされています。必要に応じて角度を調節してください。

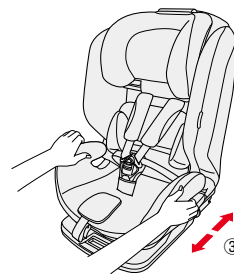
1

- ①リクライニングレバーを手前に引きながら、
- ②シート部のリクライニング角度を調節する。(3段階)



2

- ③リクライニングレバーから手を離して座面部を前後にゆすり、ロックされていることを確認する。



警告

・リクライニング操作時は、お子さまの手や指などを近づけないこと。手や指などが挟まれ、けがをするおそれがあります。



・水やジュース、泥水、ゴミなどが入りリクライニングができない場合は使用しない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。

アドバイス

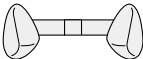

リクライニングレバーから手を離さないとロックされません。

警告

・操作後、リクライニングレバーが戻り、シート部が固定されていること。衝突などの際に充分性能を発揮できません。
・車の走行中にベルト調節やリクライニングなどの操作を行わない。

パッドの使いかた

・お子さまの発育状況により下記の表を参考に使用してください。

使用モード		サイドサポートクッション	肩パッドカバー
			
チャイルドシートモード	グループI (体重9kg～18kgまで)	○	○
ジュニアシートモード	グループII (体重15kg～25kgまで)	⊘	収納
ジュニアシートモード	グループIII (体重22kg～36kgまで)	⊘	収納



衝突などの際に充分性能を発揮できません。

- ・パッド類は本製品の専用品であるため、他の製品には使用しない。
- ・本製品のいかなる部品もお子さまの遊び道具として使用させない。
- ・取り外したパッド類はトランクルームやカーゴルームに保管し、車内に保管しない。

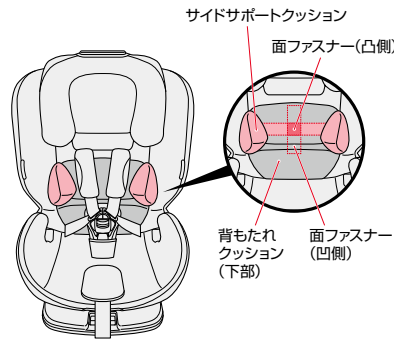


- ・パッド類を強く折り曲げたり、刃物などで切ったりしないでください。
- ・パッド類を取扱説明書記載の目的以外で使用しないでください。
- ・パッド類をなくさないよう注意してください。

1

＜サイドサポートクッションの取り付け・取り外し＞

- ① サイドサポートクッションの面ファスナーを背もたれクッション(下部)裏側の面ファスナーにとめる。

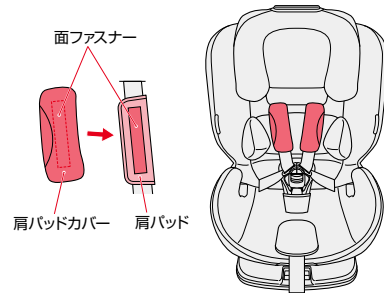


お子さまの体格に合わせて、面ファスナーの位置を調節してください。

2

＜肩パッドカバーの取り付け・取り外し＞

- 肩パッドカバーと肩パッドそれぞれの面ファスナーを合わせて取り付ける。
取り付け後は肩パッドカバーが確実に取り付けられていることを確認する。



・肩パッドカバーが外れた状態で使用しない。

取り付け準備

●お子さまの安全性を高めるために、運転席より後ろの列の座席に取り付けることをおすすめいたします。

●本書では、左後部座席に取り付ける場合を例として説明しています。

●車の座席形状やシートベルトの種類により、取り付け出来ない場合があります。
詳しくはP11～P16を参照してください。



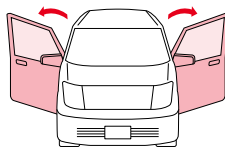
危険

- ・チャイルドシートが確実に固定できない座席では使用しない。
 - ・シートベルトに損傷がある座席には取り付けない。
 - ・補助座席、幼児専用座席には使用しない。
- 衝突などの際に充分性能を発揮できません。

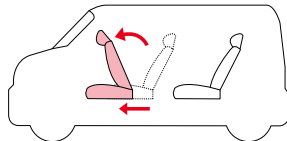
1

＜取り付け作業のスペース確保＞

①取り付け作業は、ドアの全開閉が可能な、広く平らな場所で行ってください。



②作業前に前座席を倒したり、スライドさせることで車内の作業スペースを確保できます。

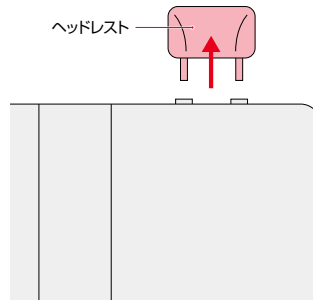


2

＜取り付ける座席の準備＞

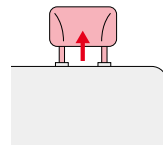
- ・ヘッドレストが取り外せる場合は取り外す。
- ・取り外したヘッドレストはトランクルームやカーゴルームに保管すること。

ヘッドレスト



アドバイス

ヘッドレストが取り外せない場合は、一番上まで上げる。



警告

- ・緊急時の脱出の妨げになる座席にはチャイルドシートを取り付けない。
- ・車のヘッドレストがチャイルドシートに干渉した状態で取り付けない。チャイルドシートが確実に固定できなくなるおそれがあり、衝突などの際に充分性能を発揮できません。
- ・取り外したヘッドレストを車内に保管しない。けがをするおそれがあります。



取り付けかた

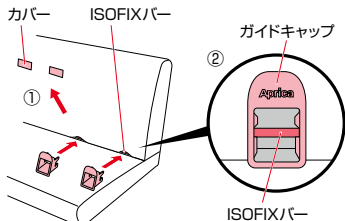
- ・本製品は、車への取り付けが完了した後で、お子さまの体重に合わせてご使用ください。
- ・本書では左後部座席での取り付けかたを説明しています。
- ・右のQRコードから取り付け確認動画をご覧ください。本書の補足としてご覧ください。

取り付け確認



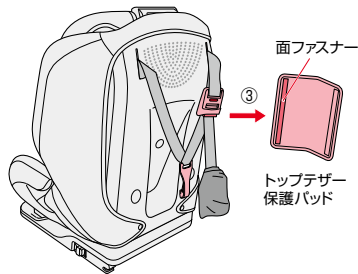
QRコード

- 1**
- ① ISOFIXバーのカバーが装備されている場合は、カバーを取り外す。(左右)
 - ② ガイドキャップをISOFIXバーに差し込み、取り付ける。(左右)



・ISOFIXバーは車両シートにかくれて見えにくい場合は、付属のガイドキャップを使うことで、チャイルドシートを取り付けやすくなります。ただし、車両シートによってはガイドキャップが取り付けられない場合があります。その場合は、ガイドキャップを使わずにチャイルドシートを取り付けてください。

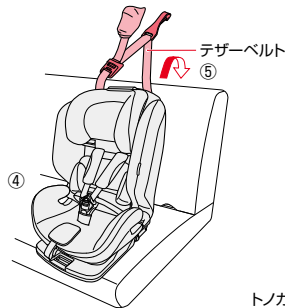
- 2**
- ③ トップテザー保護パッドを取り外す。



・取り外したトップテザー保護パッドはトランクルームやカーゴルームなどに保管すること。

3

- ④ 本体を車の座席にのせる。
- ⑤ テザーベルトを座席の後方に引き出す。



・車にトノカバーなどが装備されていて、トップテザーベルトが後方へ引き出せない場合は、座席を前側に倒してください。詳しくは車の取扱説明書をよくお読みください。

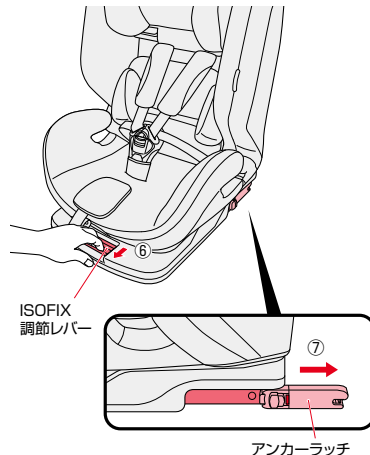


・車の座席が革仕様の場合には直接のせない。(別売のシート保護マットをご使用ください。)
座席の革をいためるおそれがあります。



4

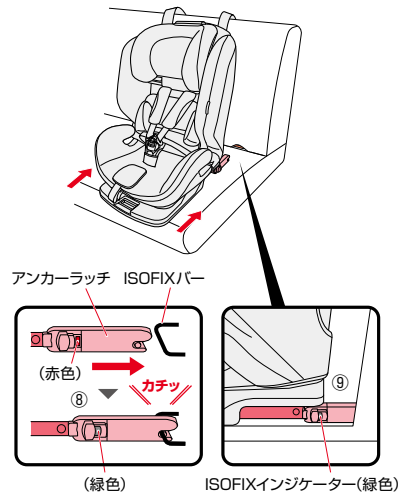
- ⑥ ISOFIX調節レバーを引きながら、
- ⑦ 左右のアンカーラッチを最後まで後方に引き出す。



取り付けかた

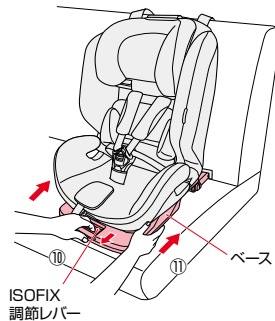
5

- ⑧左右のISOFIXバーに「カチッ」と音がするまで、ベース(アンカーラッチ)を押し込む。
⑨左右のISOFIXインジケーターが「赤色」から「緑色」に変わったことを確認する。

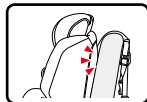


6

- ⑩ISOFIX調節レバーを引きながら車の座席の背もたれに接するまでベースを押しつける。
⑪ISOFIX調節レバーから指を放し、調節レバーが戻っていることを確認後にベースを手前に引き、動かないことを確認する。



・リクライニングが出来る座席の場合は、車の背もたれとチャイルドシート上部が接するように調節する。

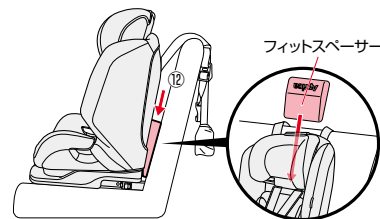


7

＜フィットスパーサーを取り付ける＞

- ⑫背もたれがリクライニングしない場合で、次の⑬、⑭に該当する時は、フィットスパーサーを取り付けてください。

- ⑬取り付け後、本製品と座席の背もたれに隙間が生じる場合。
⑭取り付け後、ベース部を両手で持ち前後左右に動かしてベース部分が3cm以上動く場合。



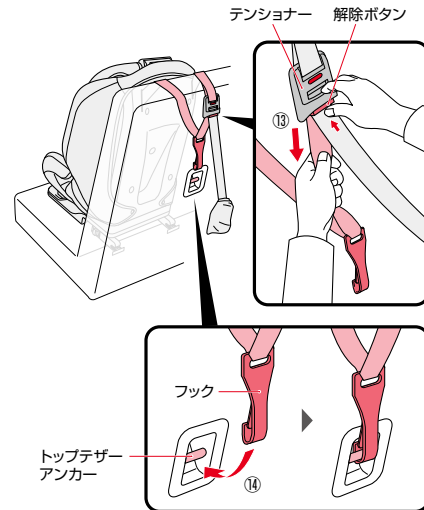
警告

・ベース奥部を両手で持ち前後左右に動かしてベース部分が3cm以上動く場合は本製品を使用しない。
衝突などの際に充分性能を発揮できません。



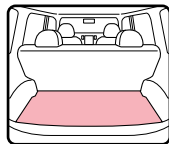
8

- ⑬テンショナーの解除ボタンを押し、テザーベルトをゆるめる。
⑭トップテザーアンカー(シート背面)にフックを固定する。

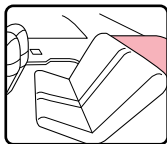


＜トップテザーアンカー位置＞

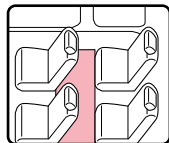
ラゲッジスペース



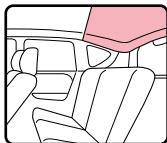
リアバースェルシェルフ



フロア



天井



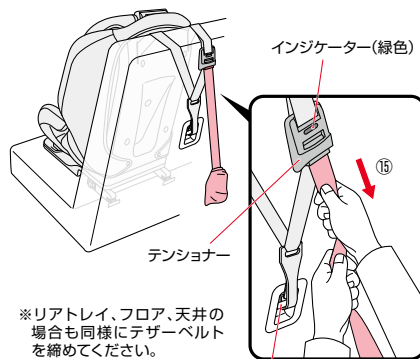
・トップテザーアンカーの位置は車種により異なります。トップテザーベルトの取り付けの詳細については車の取扱説明書をよくお読みください。

9

⑮ テンショナーのインジケーターが緑色になるまでテザーベルトを強く締める。

＜テザーベルトの締め方＞

・トップテザーアンカーがシート背面の場合



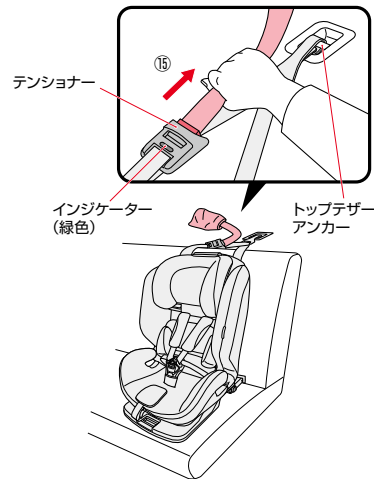
※リアトレイ、フロア、天井の場合も同様にテザーベルトを締めてください。

トップテザーアンカー



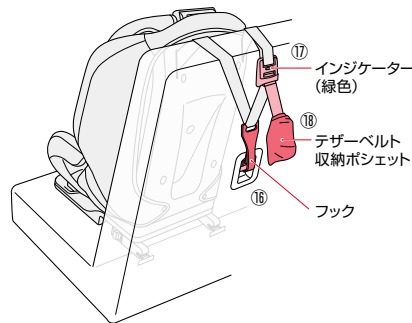
・トップテザーベルトを引っ張る方向はトップテザーアンカーの位置によって異なります。

・トップテザーアンカーがラゲッジベースの場合



10

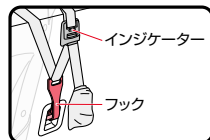
⑯ テザーベルトのフックが確実に固定されていることを確認する。
⑰ インジケーターが緑色であることを確認する。
⑱ あまったテザーベルトをテザーベルト収納ポシェットに収納する。



・取り付け完了後、テンショナーの解除ボタンやフックなどを他のお子さまに触らせない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。

取り付け後の確認

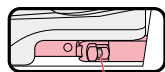
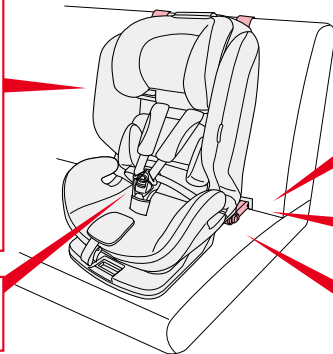
・取り付けが終わったら、チャイルドシートがしっかり固定されていることを必ず確認する。
しっかり固定されていないと、衝突などの際に、充分性能を発揮できません。



テザーベルトのフックが確実に固定され、テンショナーのインジケータが「緑色」になっている。

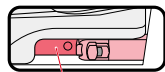
バックルに水やジュース、泥水、ごみが入っていないことを確認する。

・全て確認し、しっかり固定できていない場合は、もう一度P27～P32の手順で取り付け直してください。



ISOFIXインジケータ
ISOFIXインジケータが「緑色」になっている。(左右)

座席の背もたれにベースが接している。



コネクター
左右のコネクターが同じ長さになっている。

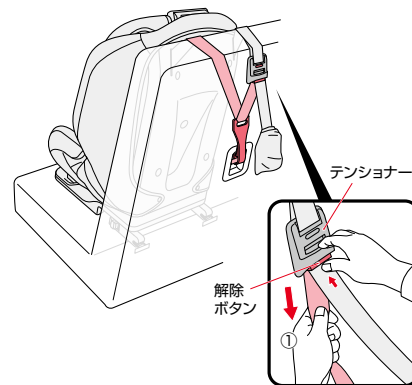
車からの取り外しかた

1

①テンショナーの解除ボタンを押し、テザーベルトを緩める。

2

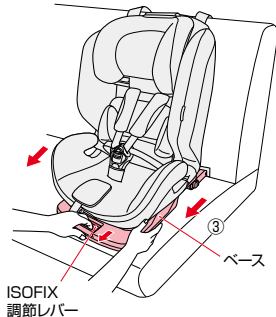
②テザーベルトのフックを取り外す。



車からの取り外しかた

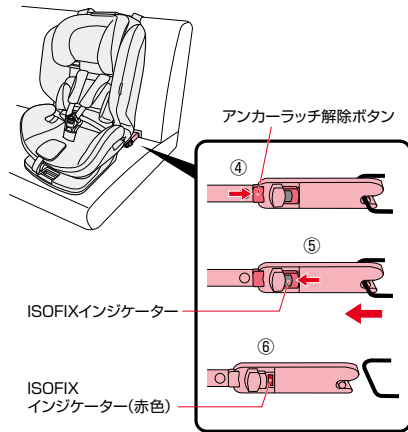
3

③ ISOFIX 調節レバーを引きながら、ベースを手前に引く。



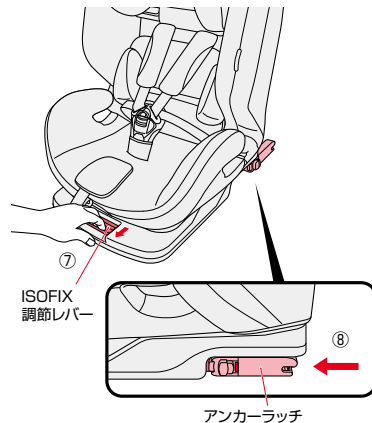
4

④ アンカーラッチ解除ボタンを押しながら、
⑤ ISOFIX インジケーターを押し込み、ベースをまっすぐ手前に引き、解除する。
⑥ ISOFIX インジケーターが「緑色」から「赤色」になったことを確認する。
※片方ずつ左右共行ってください。



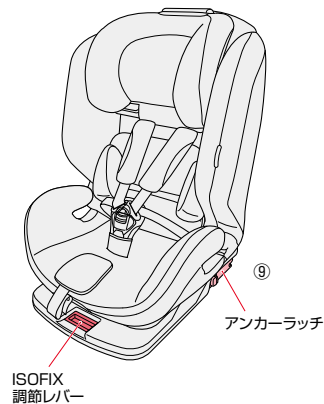
5

⑦ ISOFIX 調節レバーを引きながら、
⑧ 左右のアンカーラッチを収納する。



6

⑨ ISOFIX 調節レバーから指を放し、調節レバーが戻りアンカーラッチが動かないことを確認する。



車への取り付け

ヘッドサポートの高さ調節

1

- ①肩ハーネスをゆるめる。(P39参照)
- ②ヘッドサポート背面のヘッドサポート調節レバーを押し、ヘッドサポートの高さを調節する。



警告

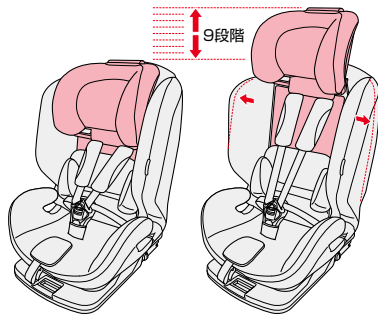
- ・頭部重心位置(耳の上端部)がチャイルドシートの背もたれの上端部より下になること。
衝突などの際に充分性能を発揮できません。
- ・ヘッドサポート調節時は本体などで手、指などを挟まないよう注意してください。手、指などを挟み、けがをするおそれがあります。

2

- ③9段階の適切な位置にしっかりと固定されていることを確認する。



- ヘッドサポートの上下の動きに連動して背もたれの横幅が変わります。
- ・ヘッドサポートを上げると横幅が広がります。
 - ・ヘッドサポートを下げると横幅が狭くなります。



注意

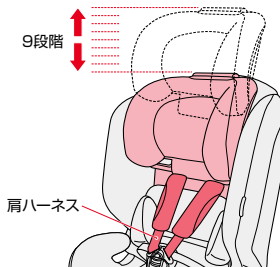
- ・ヘッドサポートがロックされていることを確認してください。

肩ハーネス位置の目安

- ・お子さまの体格に合わせて、正しい肩ハーネスの位置に調節してください。

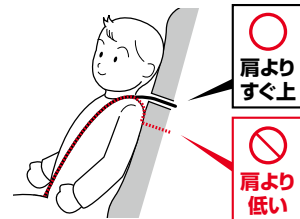
※製品を箱から取り出した際には、1番下にセットされています。

- ・9段階に調節できます。



体 重	参考身長	肩ハーネスの位置(目安)
9kgから 36kgまで	90cm位	3段目
	80cm位	2段目
	70cm位	1段目

- ・肩よりすぐ上の位置に肩ハーネスの高さを調節する。



- 肩ハーネス通し穴は、お子さまの肩の少し上の高さになるようにしてください。

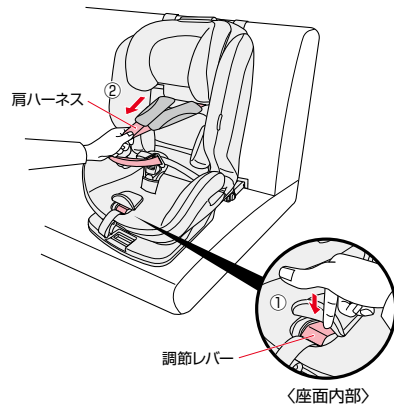
警告

- ・お子さまの肩より低い肩ハーネス通し穴を使用しない。
衝突などの際に充分性能を発揮できません。

〈グループI〉 お子さまの乗せかた

1 〈肩ハーネスをゆるめる〉

- ①調節レバーを押す。
- ②調節レバーを押したまま左右の肩ハーネスを手前に引き、ゆるめる。
(肩パッドカバーより下の肩ハーネスを引く。)

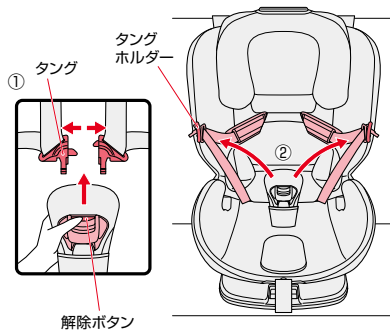


アドバイス

肩ハーネスだけを引っ張ってください。

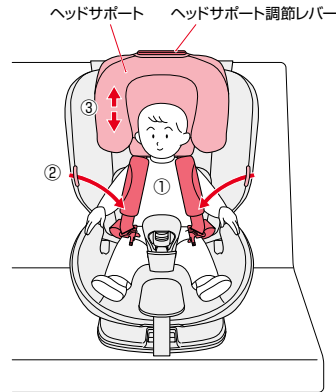
2 〈タングを外す〉

- ①バックルの解除ボタンを押し、タングを外す。
- ②左右のタングをタングホルダーに引っかける。



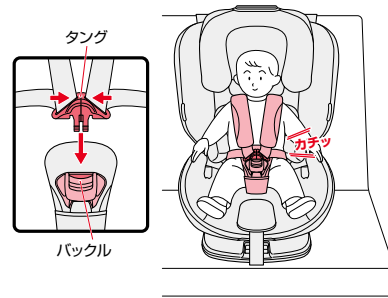
3 〈お子さまを乗せる〉

- ①お子さまを座面に深く座らせる。
- ②左右のタングをタングホルダーから外す。
- ③肩ハーネスの位置を合わせる。(P37～38参照)



4 〈タングを差し込む〉

- ①左右のタングを組み合わせて「カチッ」とバックルに固定されるまで差し込む。



警告

・タングをバックルに差し込む時は、指や手を挟まないようにしてください。**けがを負うおそれがあります。**
・タングをバックルに差し込む時、「カチッ」と音がしない場合は使用しない。**衝突などの際に充分性能を発揮できません。**

〈グループI〉 お子さまの乗せかた

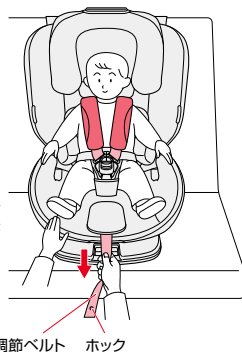
5

〈肩ハーネスを調節する〉

調節ベルトのホックを外し、調節ベルトを引き、肩ハーネスを締める。
(ゆるめる場合は、P39を参照してください。)

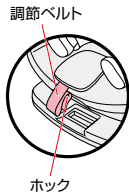


アドバイス
・お子さまの鎖骨と肩ハーネスの間に指が1本入る程度が適切です。



6

調節ベルトのホックをとめる。



警告
・肩ハーネス、腰ハーネスは、ねじれたり、ゆるんだ状態で使用しない。また、腰ハーネスは骨盤上以外で着用しない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。

〈グループI〉 使用時の確認



・肩ハーネス、腰ハーネスは、ねじれたり、ゆるんだ状態で使用しない。また、腰ハーネスは骨盤上以外で着用しない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。

〈お子さまの条件〉 体重9kgから18kgまで 参考年齢：12カ月頃から4歳頃 参考身長：70～100cm

肩ハーネスが肩より高い位置を
通っていること。

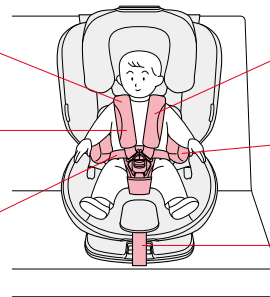
肩パッドカバーを取り付けて
いること。

お子さまの骨盤を拘束するよう
に、腰ハーネスを低く下げ
ていること。

肩ハーネスを調節していること。

サイドサポートクッションで腰
周りが支えられていること。

調節ベルトのホックをとめて
いること。

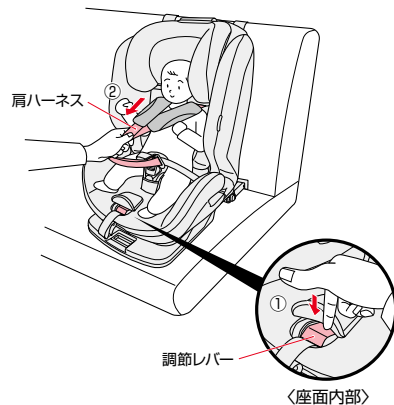


・正しくできていない場合は、もう一度P39～P41の手順をやり直してください。

〈グループI〉 お子さまの降ろしかた

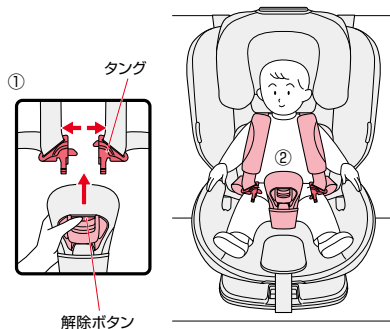
1 〈肩ハーネスをゆるめる〉

- ①調節レバーを押す。
- ②調節レバーを押したまま左右の肩ハーネスを手前に引き、ゆるめる。
(肩パッドカバーより下の肩ハーネスを引く。)



2 〈タングを外す〉

- ①バックルの解除ボタンを押す、タングを外す。
- ②肩ハーネスを左右に広げ、お子さまを降ろす。



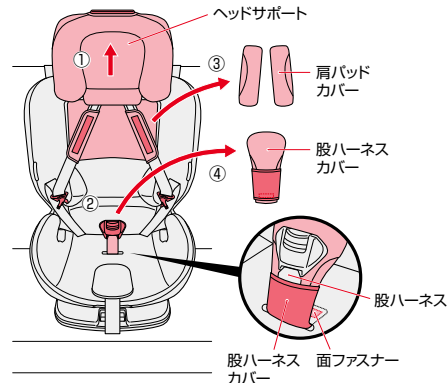
アドバイス

肩ハーネスだけを引っ張ってください。

〈グループII〉 肩ハーネス・バックルの収納

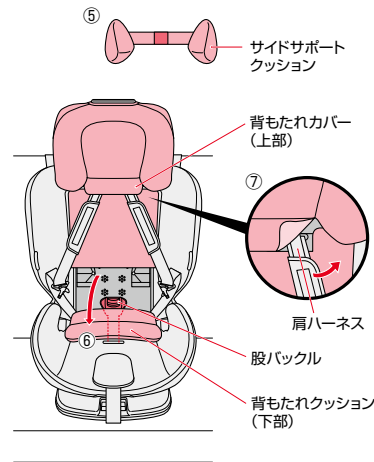
1

- ①ヘッドサポートを一番上まで上げる。(P37参照)
- ②バックルの解除ボタンを押す、タングを外す。
- ③肩パッドカバーを取り外す。(P24参照)
- ④股ハーネスカバーから股ハーネスを抜き、面ファスナーを外し、股ハーネスカバーを取り外す。



2

- ⑤サイドサポートクッションを取り外す。(P24参照)
- ⑥背もたれクッション(下部)をめくり、股バックルを座面から抜く。
- ⑦背もたれカバー(上部)をめくり、肩ハーネスを背もたれカバーから抜く。(左右)



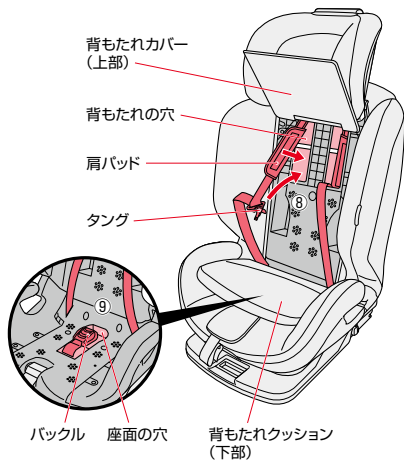
警告

・取り外した肩パッドカバー、股ハーネスカバー、サイドサポートクッションは大切に保管すること。チャイルドシートモードで使用する場合には必要になります。

〈グループII〉 肩ハーネス・バックルの収納

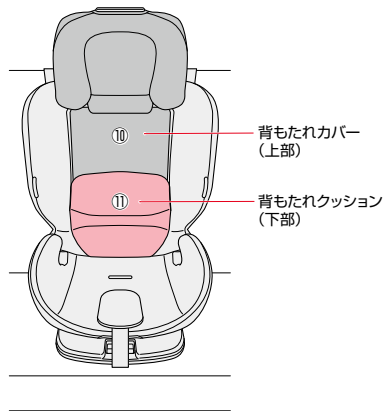
3

- ⑧ 背もたれカバー(上部)をめくり、タングと肩パッドを背もたれの穴に収納する。(左右)
- ⑨ 背もたれクッション(下部)をめくり、バックルを座面の穴に収納する。



4

- ⑩ 背もたれカバー(上部)を戻す。
- ⑪ 背もたれクッション(下部)を戻す。



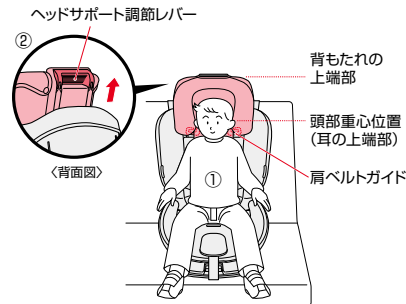
〈グループII〉 お子さまの乗せかた

- ・サイドサポートクッションを取り外していること。(P24参照)
- ・肩ハーネス・バックルを収納していること。(P44参照)

1

〈ヘッドサポートの調節〉

- ① お子さまを座面に深く座らせる。
- ② ヘッドサポート調節レバーを引き上げて、肩ベルトガイドをお子さまの肩より少し上に調節します。



警告

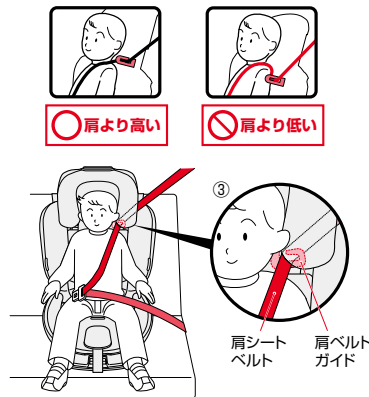
・頭部重心位置(耳の上端部)がチャイルドシートの背もたれの上端部より下になること。衝突などの際に充分性能を発揮できません。

・ヘッドサポート調節時は本体などで手、指などを挟まないよう注意してください。手、指などを挟み、けがをするおそれがあります。

2

〈肩シートベルトを通す〉

- ③ 肩シートベルトを肩ベルトガイドに通す。



警告

・肩シートベルトにねじれがないこと。

・肩ベルトガイドがお子さまの肩より高い位置にあること。

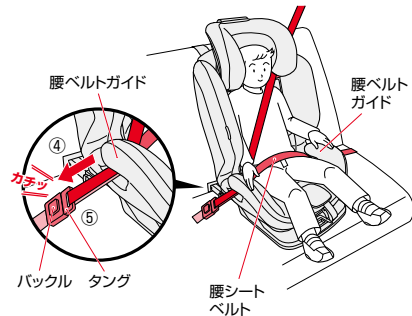
・ご使用時にシートベルトのALR機能を作動させない。ベルトがゆるめられなくなり、窒息や重大な障害を受けるおそれがあります。

〈グループII〉お子さまの乗せかた

3

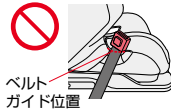
〈腰シートベルトをとめる〉

- ④ 腰シートベルトを腰ベルトガイドに通す。(左右)
- ⑤ シートベルトのタングをバックルに差し込む。



危険

・バックルの長さがベルトガイド位置より長い座席には本製品を取り付けない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。

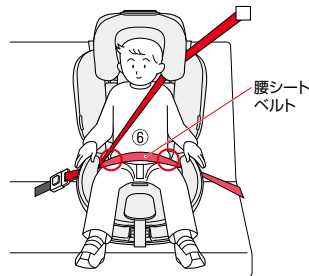


ご不明の場合は弊社お客様サポートセンターにお問い合わせください。(P59参照)

4

〈腰シートベルトを下げる〉

- ⑥ 腰シートベルトがお子さまの骨盤部を通るように低く下げる。



警告

・腰シートベルトにねじれがないこと。
衝突などの際に充分性能を発揮できません。

〈グループII〉使用時の確認

警告

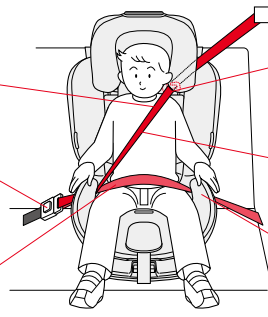
・シートベルトは、ねじれたり、ゆるんだ状態で使用しない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。
・ご使用時にシートベルトのALR機能を作動させない。ベルトがゆるめられなくなり、窒息や重大な障害を受けるおそれがあります。

〈お子さまの条件〉 体重15kgから25kgまで 参考年齢：3歳頃から7歳頃 参考身長：95～120cm

肩シートベルトがお子さまの首や身体の弱い部分に掛かっていること。

車のシートベルトのタングがバックルに差し込まれていること。

腰シートベルトが骨盤部を通るように低く下げて着用していること。



肩シートベルトがお子さまの肩より高い位置の肩ベルトガイドを通っていること。



車のシートベルトにゆるみ、たるみ、ねじれがないこと。(シワは問題ありません。)

腰シートベルトが腰ベルトガイドを確実に通っていること。

・正しくできていない場合は、もう一度P46～P47の手順をやり直してください。

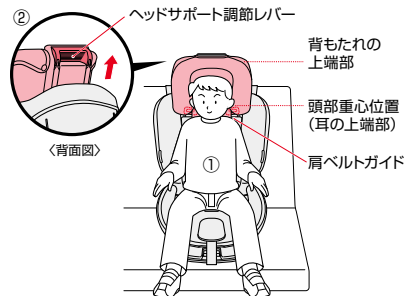
〈グループⅢ〉 お子さまの乗せかた

- ・サイドサポートクッションを取り外していること。(P24参照)
- ・肩ハーネス、バックルを収納していること。(P44参照)

1

〈ヘッドサポートの調節〉

- ① お子さまを座面に深く座らせる。
- ② ヘッドサポート調節レバーを引き上げて、肩ベルトガイドをお子さまの肩より少し上に調節します。



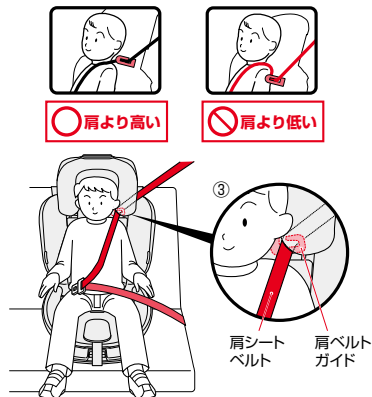
警告

・頭部重心位置(耳の上端部)がチャイルドシートの背もたれの上端部より下になること。衝突などの際に充分性能を発揮できません。
・ヘッドサポート調節時は本体などで手、指などを挟まないよう注意してください。手、指などを挟み、けがをするおそれがあります。

2

〈肩シートベルトを通す〉

- ③ 肩シートベルトを肩ベルトガイドに通す。



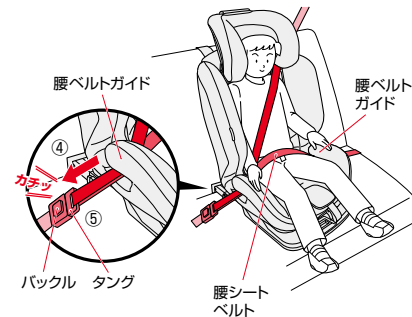
警告

・肩シートベルトにねじれがないこと。
・肩ベルトガイドがお子さまの肩より高い位置にあること。
・ご使用時にシートベルトのALR機能を作動させない。ベルトがゆるめられなくなり、窒息や重大な障害を受けるおそれがあります。

3

〈腰シートベルトをとめる〉

- ④ 腰シートベルトを腰ベルトガイドに通す。(左右)
- ⑤ タングをバックルに差し込む。



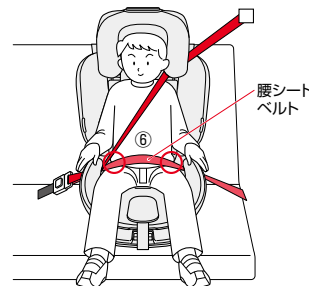
警告

・腰シートベルトにねじれがないこと。
衝突などの際に充分性能を発揮できません。

4

〈腰シートベルトを下げる〉

- ⑥ 腰シートベルトがお子さまの骨盤部を通るように低く下げる。

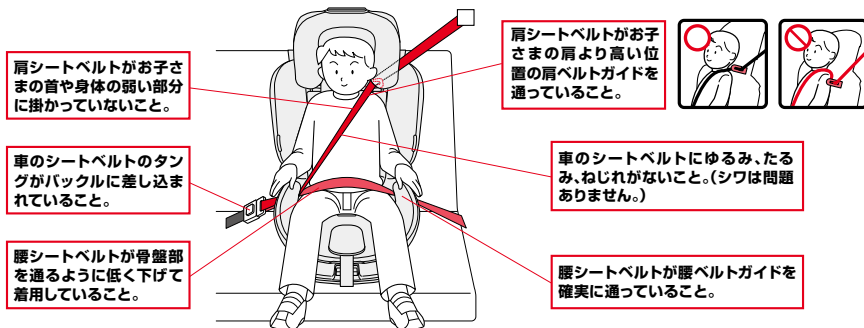


〈グループⅢ〉使用時の確認



・シートベルトは、ねじれたり、ゆるんだ状態で使用しない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。
・ご使用時にシートベルトのALR機能を作動させない。ベルトがゆるめられなくなり、窒息や重大な障害を受けるおそれがあります。

〈お子さまの条件〉 体重22kgから36kgまで 参考年齢：7歳頃から11歳頃 参考身長：120～145cm



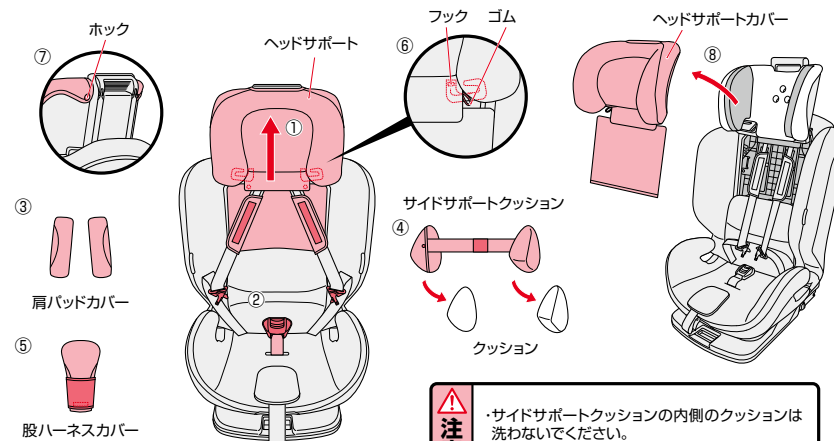
・正しくできていない場合は、もう一度P49～P50の手順をやり直してください。

シートカバーの取り外しかた

1

〈肩パッドカバー・股ハーネスカバー・サイドサポートクッション・ヘッドサポートカバーを取り外す〉

- ①肩ハーネスをゆるめ、ヘッドサポートを最上段まで上げる。
- ②バックルの解除ボタンを押し、タンクを外す。
- ③肩パッドカバーを取り外す。(P24参照)
- ④サイドサポートクッションを取り外し(P24参照)、ホックを外し、内側のクッションを取り出す。(左右)
- ⑤股ハーネスカバーを取り外す。(P44参照)
- ⑥ヘッドサポートのゴムを肩ベルトガイド裏側のフックから外す。(左右)
- ⑦ヘッドサポート背面のホックを外す。(左右)
- ⑧ヘッドサポートカバーを取り外す。



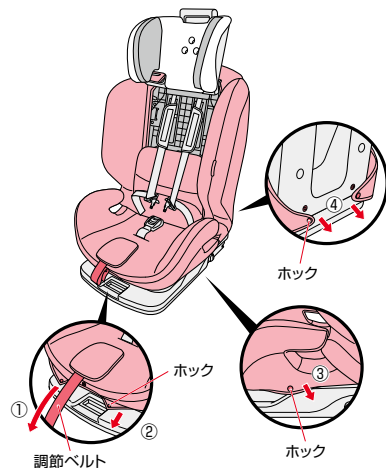
・サイドサポートクッションの内側のクッションは洗わないでください。

シートカバーの取り外しかた

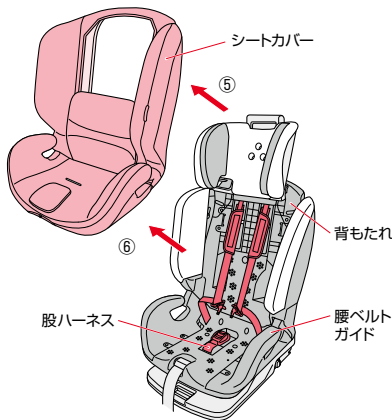
2

〈シートカバーを取り外す〉

- ①調節ベルトのホックを外す。
- ②シート部前側のホックを外す。(2カ所)
- ③シート部横側のホックを外す。(2カ所)
- ④背もたれ部背面のホックを外す。(2カ所)



- ⑤背もたれ部のシートカバーを外す。
- ⑥股ハーネスを抜き、腰ベルトガイド部を抜き取り、シートカバーを取り外す。

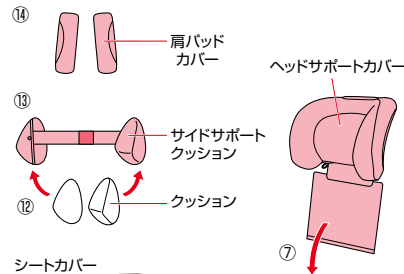


シートカバーの取り付けかた

1

〈シートカバーを取り付ける〉

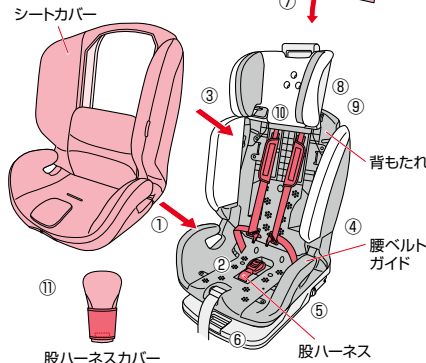
- ①シートカバーを腰ベルトガイド部にかぶせる。
- ②股ハーネスを通し穴に通す。
- ③シートカバーを背もたれ部にかぶせる。
- ④背もたれ部背面のホックをとめる。(2カ所)
- ⑤シート部横側のホックをとめる。(2カ所)
- ⑥シート部前側のホックをとめる。(2カ所)



2

〈ヘッドサポートカバーを取り付ける〉

- ⑦ヘッドサポートカバーをかぶせる。
- ⑧ヘッドサポート背面のホックをとめる。(左右)
- ⑨ヘッドサポートのゴムをとめる。(左右)
- ⑩肩ハーネスを背もたれカバー(上部)に通す。(左右)



〈股ハーネスカバーを取り付ける〉

- ⑪股ハーネスカバーを取り付ける。(P44参照)

〈サイドサポートクッションを取り付ける〉

- ⑫内側のクッションを取り付け、ホックをとめる。(左右)
- ⑬サイドサポートクッションを取り付ける。(P24参照)

〈肩パッドカバーを取り付ける〉

- ⑭肩パッドカバーを取り付ける。(P24参照)

・取り付け後、リクライニング操作をしてもシートカバーやクッションの浮きが無いことを確認してください。

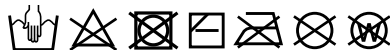


・正しい取り付け方をしないと指挟みなどの思わぬ事故の原因となるおそれがあります。
・シートカバーを取り外した状態で使用しない。

お手入れ

お手入れ／保管／廃棄のしかた

〈シートカバー、肩パッドカバー、股ハーネスカバー、トップテザー保護パッドの洗濯〉



※ねじり又は絞り禁止

〈ヘッドサポートカバー、サイドサポートクッションの洗濯〉

※ネット使用にて洗濯機洗い可能です。



※洗濯ネット使用、弱く絞る



・他のものと一緒に洗濯しないでください。
色移り(移染)のおそれがあります。

〈樹脂部分、ハーネス、パッド類のお手入れ〉

〈樹脂部分にほこりなどが吸着した場合〉

- ・タオルなどで乾拭きしてください。
- ・回転レバー付近にゴミがつかまらないようにこまめに掃除機などでゴミを吸い取ってください。

〈水溶性の汚れ(果汁、ヨダレ、オシッコなど)の場合〉

- ・40℃前後のお湯にタオルを浸し、軽く絞って拭き取ってください。
- ・ハーネス、パッド類は日陰で乾燥させてください。

〈非水溶性の汚れ(牛乳、油脂、マヨネーズなど)の場合〉

- ・40℃前後のお湯に中性洗剤を溶かし、スポンジを浸し、軽く絞って汚れた部分を軽くこすります。その後、水又は温水にタオルを浸し、軽く絞って充分に中性洗剤を拭き取ってください。
- ・ハーネス、パッド類は日陰で乾燥させてください。



・本装置やパッド類、付属部品の洗浄にはシンナーなどの溶剤を使用しないでください。変色、変形、劣化のおそれがあります。

〈保管するときは〉

- ・本装置を湿気のないポリ袋などに入れ、直接日光に当たらない、冷暗所に保管してください。



・屋外に放置し、雨などにさらさないでください。
劣化などにより、十分な性能を発揮できないおそれがあります。

〈廃棄するときは〉

- ・事故や落下などにより強い衝撃を受けた製品には、本装置に「事故品」と油性ペンで目立つところに記入し再利用を防止してください。
- ・地球環境のため、不要になった場合は、お住まいの各自治体の指示に従い処分、廃棄してください。

困ったときには〈解決しない場合は弊社お客様サポートセンターに連絡してください。〉

〈ご使用前に困ったとき〉

お気づきの点	対処方法
梱包箱の内容物に不足や間違いがある。	弊社お客様サポートセンター(0120-415-814)または、お買い上げの販売店までお問い合わせください。(P59「アフターサービスについての連絡先」参照)
チャイルドシートをご使用になる車に、取り付け可能か判らない。	インターネットのアプリカホームページ[https://www.aprica.jp/]や店頭のチャイルドシート取り付け可能車種一覧表を確認してください。
車のどの座席に取り付けられれば良いのか判らない。	エアバックの有る助手席に取り付けることはできません。また、車両後部座席(3列シートの車両の場合は2列目以降の座席)への取り付けをお奨めします。ISOFIXバーが無い座席には取り付けられません。(P11「座席の条件」、P15「シートベルトの条件」参照)

〈車への取り付けで困ったとき〉

お気づきの点	対処方法
チャイルドシートを本書の通りに車の座席に取り付けてもグラグラする。	車への取り付け方法を再度ご確認ください。もう一度初めから取り付け直してください。(P25「取り付け準備」参照)
	何度取り付けても固定できない場合は、チャイルドシートと車の座席がミスマッチの可能性があります。弊社お客様サポートセンター(0120-415-814)または、お買い上げの販売店までお問い合わせください。(P59「アフターサービスについての連絡先」参照)
車のシートのISOFIXバーにうまく差し込むことができない。	付属のガイドキャップを使い、もう一度初めから取り付け直してください。(P27「取り付けかた」参照)

困ったときには〈解決しない場合は弊社お客様サポートセンターに連絡してください。〉

〈お子さまの乗せかたで困ったとき〉

お気づきの点	対 処 方 法
肩ハーネスを最も引き出した状態で、お子さまに肩ハーネスを通してバックルにタングが差し込めない。	ヘッドサポートの位置を確認してください。 (P37「ヘッドサポートの高さ調節」、P38「肩ハーネス位置の目安」参照) 車内の温度を調節し、厚手の上着は脱がせてください。
シートベルトの“ねじれ”が取れない。	シートベルトのバックルにタングを“ねじって”挿入していないか確認してください。 (P47「グループⅡ」[お子さまの乗せかた]、P50「グループⅢ」[お子さまの乗せかた]参照)
肩ハーネスとお子さまの適切なフィット感が判らない。	お子さまの鎖骨と肩ハーネスの間に指が1本入る程度が適切です。 (P41「お子さまの乗せかた」参照)
チャイルドシートのバックル操作ができない。	タングとバックルの隙間に股ハーネスカバーなどを挟み込んでいないか確認してください。 (P40「お子さまの乗せかた」参照) 問題が解決しない場合は、弊社お客様サポートセンター(0120-415-814)または、お買い上げの販売店までお問い合わせください。(P59「アフターサービスについての連絡先」参照)
バックルにジュースやゴミなどが入ってタングが差し込めない。	弊社お客様サポートセンター(0120-415-814)までお問い合わせください。 (P59「アフターサービスについての連絡先」参照)

〈操作時に困ったとき〉

お気づきの点	対 処 方 法
リクライニング操作ができない。	リクライニングレバーを手前に引きながらシート部のリクライニング角度を調節してください。 (P22「リクライニングのしかた」参照) リクライニング部にゴミなどがはさまっていないかを確認してください。
ヘッドサポートが上がらない。	肩ハーネスをゆるめてから、ヘッドサポートの高さ調節を行ってください。 (P37「肩ハーネスをゆるめる」参照)

保証について

〈保証期間とアフターサービス〉

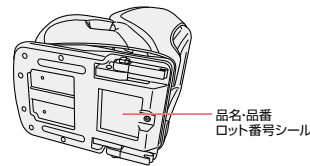
・アフターサービスについて

ご使用中に故障などが発生したり、点検中に発見した場合、部品の交換または修理の必要が生じた場合、及びその他異常を感じた場合は、ご使用を中止し製品名・品番・ロット番号をご確認のうえ弊社お客様サポートセンター(0120-415-814)または、お買い上げの販売店までお問い合わせください。

・保証期間中(お買い上げ日より1年間です。)に部品の欠品、不良加工など弊社の責任によるもの、取扱説明書や注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、保証規定にもとづき無償修理を致します
ただし、お預かりした製品を確認した結果、弊社にて修理ができないと判断した場合は製品交換とさせていただく場合がございます。

・ご購入日より3年以上経過した製品についての修理はいたしますが、製品の修理箇所以外の品質の保証はいたしかねます。(修理箇所の保証期間は1カ月です。)
また、製造中止後の製品については、修理必要部品の在庫がなくなった場合、修理が出来ないこともあります。
(部品の保有期間は、製造中止後3年間です。)

・お問い合わせの際は、スムーズな対応が行えますよう、
品名・品番・ロット番号を必ずお伝えください。



その他

アフターサービスについての連絡先

ニューウェルブランズ・ジャパン合同会社

〈電話連絡先〉

ベビー用品 お客様サポートセンター **TEL 0120-415-814**

携帯電話からご利用の場合（通話料お客様負担）**TEL 0570-004-155**

受付時間：AM10：00～PM5：00（土、日、祝日、弊社所定休日を除く）

お買い上げ時レシート
貼り付け位置

・お問い合わせの際に、スムーズな
対応が行えますよう、お買い上げ時
のレシート（領収書）を貼り付けて
ください。
